



乗り入れ授業・音楽

3月6日(火)7日(水)の両日、中学校の音楽室に小学校6年生が訪れ、中学校の川村教諭の指導で卒業式の式歌「旅立ちの日に」を練習しました。



歌う時の姿勢や呼吸などの練習をしました。小学生の皆さんの学んだことをすぐに吸収して、どんどん上達していく姿と素晴らしい歌声に感動しました。卒業式の時もこの素敵な歌声を響かせてほしいと思います。(川村)



「少年よ世界をめざせ」を刊行・配布



ふれあい授業に刺激

弘前市の「子供達を支援する会」(工藤良男会長)が、昨年11月に「少年よ世界をめざせ」を同校へ寄贈した。

弘前市の「子供達を支援する会」(工藤良男会長)が、昨年11月に「少年よ世界をめざせ」を同校へ寄贈した。

キャリア教育の一環、「ひろさき卍学」(テーマ「人々の想い」)の一環として実施した「ふれあい授業」の感想文集(「子供達を支援する会」発行 会長; 元弘前市議会議員工藤良憲氏)が刊行され、中学校に寄贈されました。この文集は東奥信用金庫石川支店、JAいしかわ支店などに置かれていますので、訪れた時にはどうぞご覧ください。地元を大切に思う気持ちなどを綴ったの感想文の一部を紹介します。

地域へ、地元へ 3年 相馬日和

2/24「陸奥新報」より

最後の「ひろさき卍学」はJA石川支店長猪股さんに「魅力ある農業をめざして」というテーマで、国内外の農業の実態について教えていただきました。

特に印象に残ったことは、世界の食糧の生産は人口の増加を上回る勢いで増加しているということです。私は人口が増加しているため、食糧の生産も供給も減少して不足していると思っていたのですが、今は技術革新が進んでいることにより食糧が上回っているそうです。しかし、過剰にある所とない所があり、食糧不足で栄養失調が頻繁に起こるような所で生きている人は世界で約8億人もいます。かつて、日本も戦争などで食糧不足を体験体験していたと授業で教わっていたので、どんなに辛いだらうかと思いました。だから、食糧を生産する職業である農業は本当に必要です。私の祖父母も農業をしていて、りんごもぎはよく手伝いをしました。この小さな手伝いによって救われる人がもしかしたらいるかもしれない、と思うと農業は地味な職業というイメージではなくなりました。私の中であまりよいイメージでなかった職業でしたが、猪股さんのお話を聞き、やりがいがあり、地域に貢献できる貴重な職業だということを知ることができました。身近なことから、地域を大切にしていこうと思います。そして、将来は地元の人のためになるような仕事で働きたいと思います。

弘前市の「子供達を支援する会」(工藤良男会長)が、昨年11月に「少年よ世界をめざせ」を同校へ寄贈した。

「ふれあい授業」の感想文集(「子供達を支援する会」発行)が刊行され、中学校に寄贈されました。この文集は東奥信用金庫石川支店、JAいしかわ支店などに置かれていますので、訪れた時にはどうぞご覧ください。地元を大切に思う気持ちなどを綴ったの感想文の一部を紹介します。

「ふれあい授業」の感想文集(「子供達を支援する会」発行)が刊行され、中学校に寄贈されました。この文集は東奥信用金庫石川支店、JAいしかわ支店などに置かれていますので、訪れた時にはどうぞご覧ください。地元を大切に思う気持ちなどを綴ったの感想文の一部を紹介します。